

子育てのために会社を休んでいるけれど、職場に戻るとき、保育所に預けられるかが心配。

大勢の人が集まる場所に行くと子どもが落ち着きません。同じ悩みを抱えるママもいるはず。

子育てでイライラがたまることもあります。ストレスを発散できるイベントがあればいいのに。



初めての子育てで悩みだらけ。私の悩みを聞いてくれる場所があれば助かります。

子育ての悩み 皆さんに聞きました

子育て中の人に「子育てしていて悩んでいることや不安なこととはありますか」と尋ねてみると、それぞれ違った悩みや不安を感じています。誰もが安心して子育てできるようにするには、どのようなことが大切か考えてみます。

子育ての悩みは 人それぞれ

子育て中の人を取り巻く環境は人それぞれ。家庭の環境や住んでいる場所、子どもの性格などが違うため、抱える悩みや不安もさまざまです。また、同じ環境で子育てする人でも、本人の性格などにより、不安に感じる程度や内容も異なります。

しかし、その悩みや不安も大きく2つに分けることができます。ひとつは「保育の場に関すること」、もうひとつは「相談場所やノウハウに関すること」です。

このような悩みや不安を解消するために、町はどのようなことに取り組む必要があるのでしょうか。また、子育て中の人が、自分の悩みや不安を解消するために、どのようなことをすればよいのでしょうか。

子育ての悩み・不安

相談場所やノウハウに関すること

- 子育ての悩みを相談できない
- 気軽に話せる人が身近にいない
- 同じ悩みを抱える人との交流の場を知らない など

保育の場に関すること

- 保育所の入所が決まらない
- 子どもを短時間預けられる場所が欲しい
- 就職や職場復帰ができない など

問い合わせ ことも未来課へ



保育所入所までの流れ

4月入所を希望するときは、前年の12月下旬～1月ごろに申し込みを受け付けます。下の流れは年度の途中で入所を希望するときのものです。

1 こども未来課に申込書を提出

入所を希望する月の前月10日までに、必要書類を提出します。
※10日が閉庁日のときはその前の開庁日までに提出

2 提出された書類を使って審査します

提出された書類から家族構成や働く状況などを見て、その家庭の保育の必要度を点数化します。

現在、保育所の入所を希望する人の数が保育所の定員を超えているため、すべての希望者が入所できない状況が続いています。

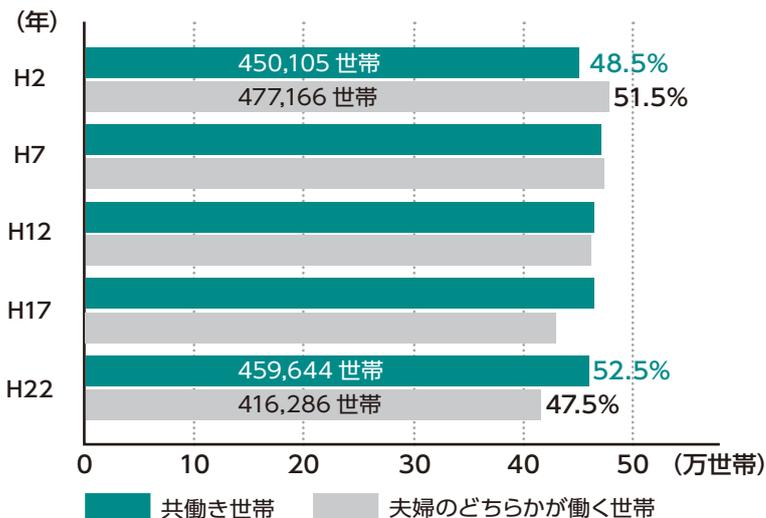
3 審査結果の通知が届きます

審査は毎月20日前後に行い、その結果は速やかに通知します。

4 保育所への入所手続きが始まります

入所が仮決定した人は、保育所での面談と健康診断を受けた後、入所が決定します。

■県内の共働き世帯の推移（資料：総務省「国勢調査」）



■町内の待機児童の推移（こども未来課調べ）



※数値は各年4月時点

高まる保育ニーズ

保育サービスへのニーズは近年とても高まっていて、その内容も多様化しています。親元から離れた場所で子育てしている人は、子どもを誰かに預けたいと思ったときに、身近に預けられる家族などがいません。このような人たちは、子どもを預けられる場を求めています。近年は、女性の社会進出が進んだことや経済の低迷で収入が伸び悩んでいることもあり、夫婦がともに働く世帯が多くなっています。また、離婚率の高まりを受け、ひとり親世帯も年々増え続けています。

仕事と子育てが両立できる環境を

「仕事と子育てが両立できる環境を」という言葉が、子育てする人が、安心して子どもを預けられる環境を整えるために、町は保育所の運営や私立保育所が定員を増やす支援を行ってきました。また、県や市町村が認可していない保育施設へ入所している子どもの保護者へ補助金を交付したり、こども未来館で一時保育を受け付けたりするなどさまざまな環境を整えてきました。

しかし、高まる保育需要に保育サービスの供給が追い付かず、常に待機児童がいる状況が続いています。このような状況を解消するためにも、保育の場を増やすことが必要です。



岡垣東部保育所

平成 26 年に民間移譲された保育所。思いやりの心や自分の気持ちを伝える力など、豊かな人間性を持った子どもに育てます。

【施設情報】

ところ 東松原1丁目3-1
 対象児 3カ月児～就学前
 開所時間 7:00～20:00
 (延長保育含む)
 定員 100人



▲完成は平成 29 年を予定



町立中部保育所

子どもたちが持つ未来に大きく伸びる芽を伸ばすために、豊かで充実した保育に努めています。

【施設情報】

ところ 吉木西1丁目 4-28
 対象児 7カ月児～就学前
 開所時間 7:00～20:00
 (延長保育含む)
 定員 60人



子育てを支える場を増やすために

新たな保育の受け皿を確保するために

保育の場を増やすためには、その受け皿となる保育施設を増やす必要があります。

町は、必要とするすべての家庭に保育の場を提供するため、これまで町内にあった町立中部保育所や岡垣東部保育所、おとぎのいえ保育園に加え、新たに事業所内保育施設「ひよこ保育園」や小規模保育施設「キッズルーム岡垣」の設立を認可し、保育サービスの充実を行いました。

保育所を建て替え定員を増やします

より多くの保育の場を確保するためには、保育所の定員を増やすことも効果的です。

現在、施設が老朽化している岡垣東部保育所の建て替え工事が始まっています。建て替え後は、定員が20人多くなるため、待機児童を減らす大きな役割を果たすことが期待されます。

質の高い保育サービスを目指して

子どもたちがより豊かに育



ひよこ保育園

平成 27 年に町内初の事業所内保育施設として開所。事業所の従業員以外の子どもも受け入れ、仕事と子育ての両立を支援しています。

【施設情報】

ところ 中央台3丁目 22- 1

対象児 5カ月児～2歳児

開所時間 7:00～19:00

(延長保育含む)

定員 12人



おとぎのいえ保育園

平成 18 年に私立認可保育所として開所。バランスのとれた人間形成のため、年齢が違う子どもとのふれあいを大切にしています。

【施設情報】

ところ 東松原1丁目6-16

対象児 3カ月児～就学前

開所時間 7:00～20:00

(延長保育含む)

定員 60人



キッズルーム岡垣

平成 28 年に町内初の小規模保育施設として開所。家庭的な温かい環境の中でふれあいを大切にした保育を行っています。

【施設情報】

ところ 海老津駅前 13- 3

対象児 6カ月児～2歳児

開所時間 7:00～19:00

(延長保育含む)

定員 19人



つためには、子どもたちを預かる保育所の職員が、ゆとりを持って働ける環境を整えることも必要です。職員1人が受け持つ子どもの数を少なくし、子どもたちに一人ひとりに目が届くように工夫しています。

保育所で子どもたちとふれあう職員の技術を高めることも大切です。質の高い保育サービスを提供できるように、働く環境を良くすることに、研修を充実させることに取り組み、人材の育成や確保に努めています。



子育ての悩みは 分かち合うことが大切

悩みを打ち明けられないことが本当の悩み

子育て環境やノウハウに関する悩みを抱えている人の多くは、自分の抱える悩みを聞いてくれる存在が身近にいないことが考えられます。

昔から岡垣町で暮らしている人は、町内に住む友人などと子育てに関する話をすることで、自分の悩みを打ち明け、解決につながるアドバイスなどを得ることもあると思います。しかし、結婚を機に生まれ育った土地や親元を離れ、夫婦で岡垣町で暮らしている人は、子育てに関する悩みを相談できる相手はパートナー

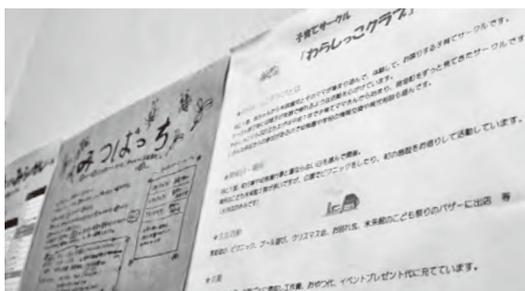
のみ。初めて子育てを経験するときは、なかなか解決への糸口がつかめないことも多いのではないのでしょうか。

こども未来館は出会いと交流の場

町内にある子育て支援施設「こども未来館」は一時保育の場や子どもたちが楽しく過ごす場だけではなく、子育て中の人たちの交流の場、子育ての悩みを共有する情報交換の場としての役割も担っています。

イベントに集まる人たちの家庭環境や住んでいる場所はそれぞれ違います。イベントで隣に座った人と会話する中で、自分と同じ悩みを抱える人と知り合えることも少なくありません。また、料理教室などでは、子育ての悩みに共感してくれる人と楽しい時間を過ごすこともできます。

子育ての悩みは子育てしている人が一番知っているものです。もし、あなたが子育ての悩みを一人で抱え込んでいるなら、自分自身の憩いの場として、まずはこども未来館に足を運んでみてください。きっとすてきな出会いが見つかるはずです。



▲こども未来館の掲示には、同じ悩みを抱える人が集うイベントやサークルの情報が貼られています



共感してくる人の存在が
安心できるきっかけになります



わらしっこクラブ 代表 初山彩子さん

私たちの活動は、子ども向けの内容ですが、参加するのはお母さんたちも一緒。お母さんたちに楽しんでもらいたいと思っていきます。イベントの準備などは、子どもが寝た後など空いた時間に行うので、できる範囲は限られます。しかし、参加者が助け合いながらイベントを運営する中で、予想外なことが起こっても、笑って過ごせることが多いですね。

子育てしている人にとって、自分の悩みに共感してくれる人と話すことは、安心できる一番の材料になります。一人で悩みを抱え込んでいる人が笑顔で子育てできるように、私たちの活動の輪を広めていきたいと思っています。

町内には、同じ悩みを持つ人同士が集まるサークルがいくつかあります。こども未来館のイベントには、このようなサークルの皆さんも参加しています。



子育てサークル
わらしっこクラブ

月に一度、こども未来館や地域交流センターなどで活動しています。興味のある人はメールで問い合わせください。次の開催日程をお知らせします。
問い合わせ 代表(初山)へメール
(warashikko_okagaki@yahoo.co.jp)

親子の癒やしの空間

こども未来館

こども未来館でも保育の取り組みや子育て中の皆さんがほっとする時間を提供しています。ぜひ利用してください。

問い合わせ 同館 ☎ 281-5501

一時保育



乳幼児ひろば



みんなのひろば



子どもたちもお父さんお母さんも楽しめる空間を用意しています。ぜひ遊びに来てください。

こども未来館 館長 川原美智子